

# ニチレイロジグループ

## 2022年度事業報告会

2023年5月15日

## 1. 企業概要

## 2. 2023年3月期 決算概要

## 3. 中期経営計画

### ①進捗状況

### ②2023年度重点施策

## 4. 参考資料

# 1. 企業概要

## [組織体制]

(株)ニチレイロジグループ本社 (持株会社)

子会社39社 関連会社11社

### 地域保管事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道

(株)ニチレイ・ロジスティクス東北

(株)キョクレイ

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海

(株)ニチレイ・ロジスティクス関西

(株)ニチレイ・ロジスティクス中四国

(株)ニチレイ・ロジスティクス九州

### 物流ネットワーク事業 (3PL・運送・流通・加工)

(株)ロジスティクス・ネットワーク

(株)NKトランス

### エンジニアリング事業

(株)ニチレイ・ロジスティクス  
エンジニアリング

### 中国事業

日冷物流投資（上海）有限公司  
上海鮮冷儲運有限公司  
上海鮮栄運物流有限公司  
江蘇鮮華物流有限公司  
南京鮮華物流有限公司

### タイ事業

SCG Nichirei Logistics Co.,Ltd.

### マレーシア事業

NL Cold Chain  
Network(M)Sdn.Bhd.  
NL Litt Tatt Group Sdn.Bhd.  
Litt Tatt Enterprise Sdn.Bhd.  
Litt Tatt Distribution Sdn.Bhd.

### ベトナム事業

Nichirei TBA Logistics  
Vietnam LLC

### 海外事業

#### 欧州事業

Nichirei Holding Holland B.V.

HIWA Rotterdam Port Cold Stores B.V.

Eurofrigo B.V.

Thermotraffic Holland B.V.  
Thermotraffic UK LTD.  
Kevin Hancock LTD.

Thermotraffic GmbH

Frigo Logistics Sp.z o.o.  
Armir Logistyka Sp. z o.o.  
Armir Dystrybucja Sp. z o.o.

Transports Godfroy S.A.S

Entrepots Godfroy S.A.S

Norish (N.I.) Limited  
Norish Limited

## 1. 企業概要

## 2. 2023年3月期 決算概要

## 3. 中期経営計画

### ①進捗状況

### ②2023年度重点施策

## 4. 参考資料

## 2. 2023年3月期 決算概要

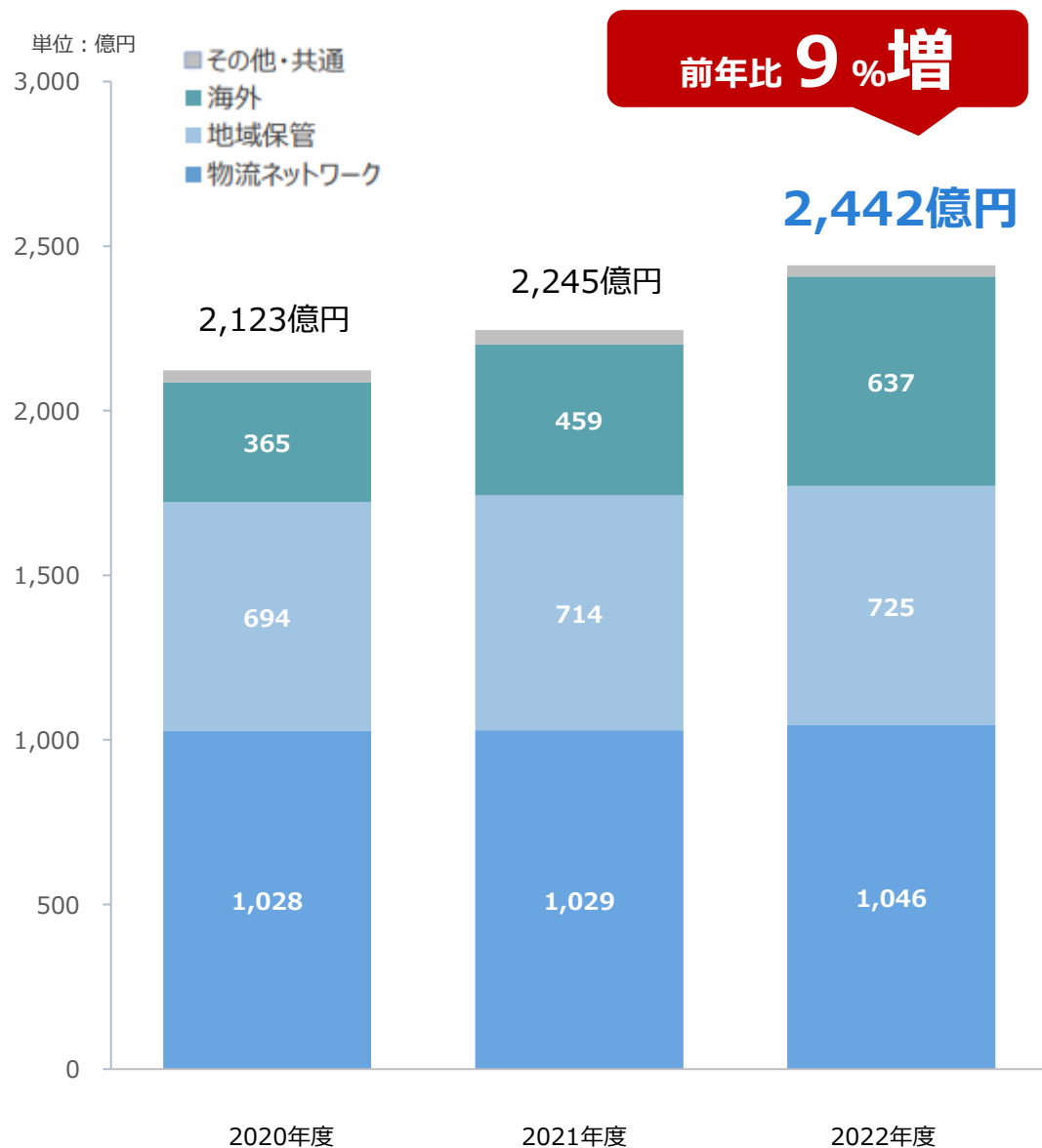
### [ハイライト]

<b>連結</b>	<b>国内外のコスト上昇影響を海外伸長や施策効果でカバーし増収増益</b>		
	売上高	: 2,442億円	前年比 <b>9%増</b>
	営業利益	: <b>151億円</b>	前年比 <b>4%増</b>
<b>物流 ネットワーク 事業</b>	<b>業務用商材の取扱回復で増収も、コスト影響をカバーできず減益</b>		
	売上高	: 1,046億円	前年比 <b>2%増</b>
	営業利益	: <b>54億円</b>	前年比 <b>2%減</b>
<b>地域保管 事業</b>	<b>旺盛な保管需要とネットワーク化効果の拡大により増益を確保</b>		
	売上高	: <b>725億円</b>	前年比 <b>1%増</b>
	営業利益	: <b>81億円</b>	前年比 <b>2%増</b>
<b>海外 事業</b>	<b>前年度に実施した欧州での買収効果が寄与し収益が大きく伸長</b>		
	売上高	: <b>637億円</b>	前年比 <b>39%増</b>
	営業利益	: <b>24億円</b>	前年比 <b>16%増</b>

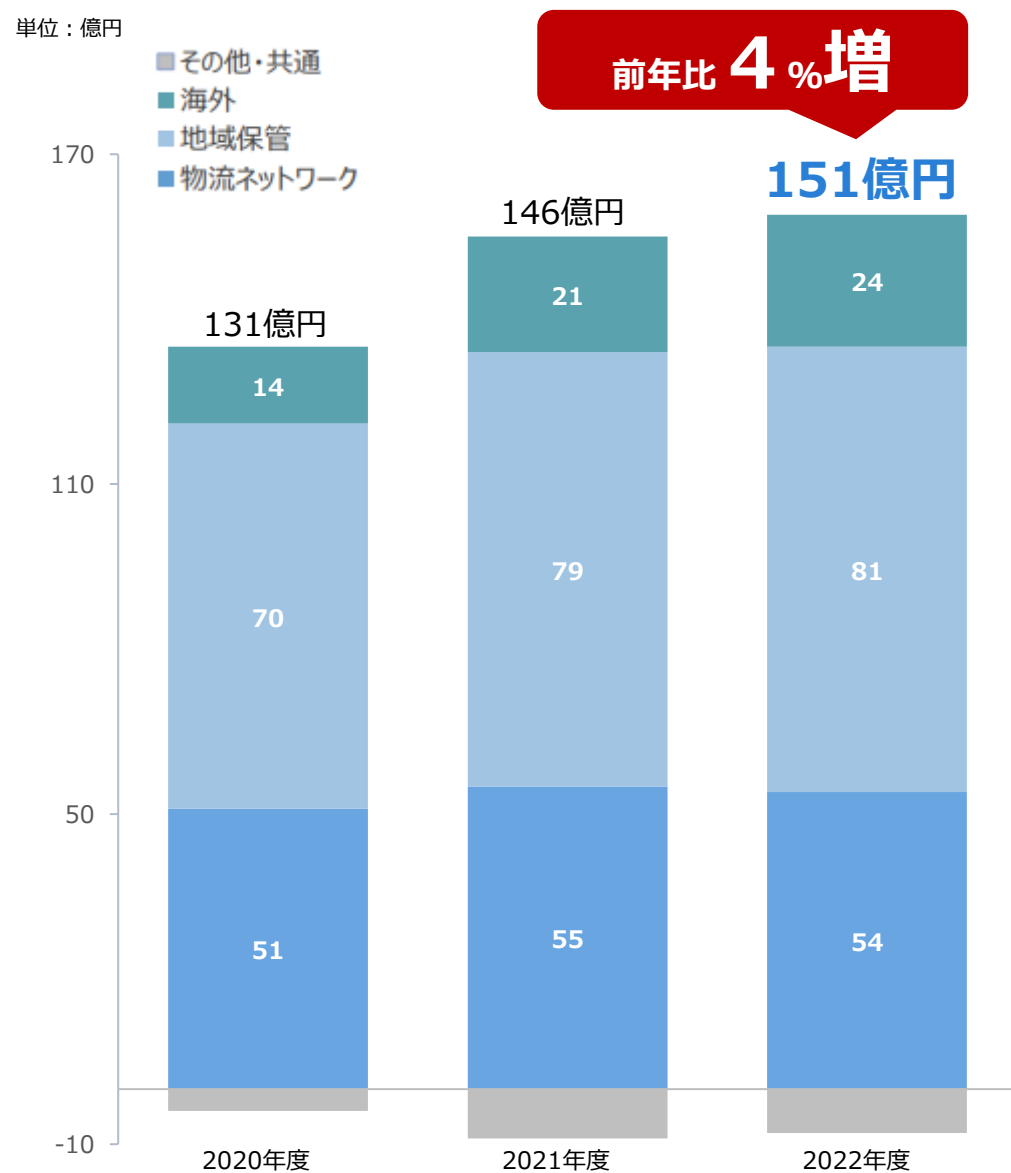
## 2. 2023年3月期 決算概要

### [連結業績]

#### 売上高推移

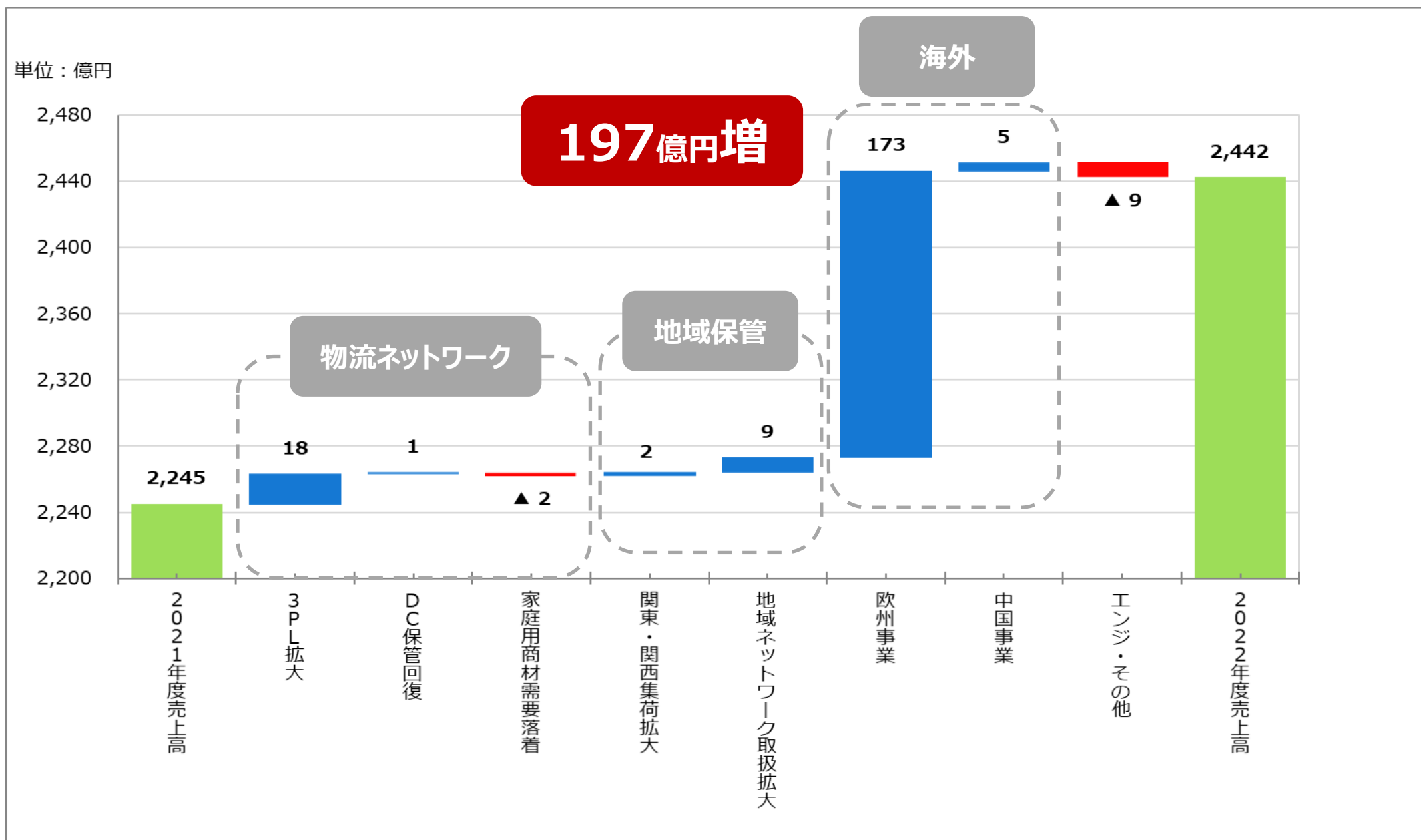


#### 営業利益推移



## 2. 2023年3月期 決算概要

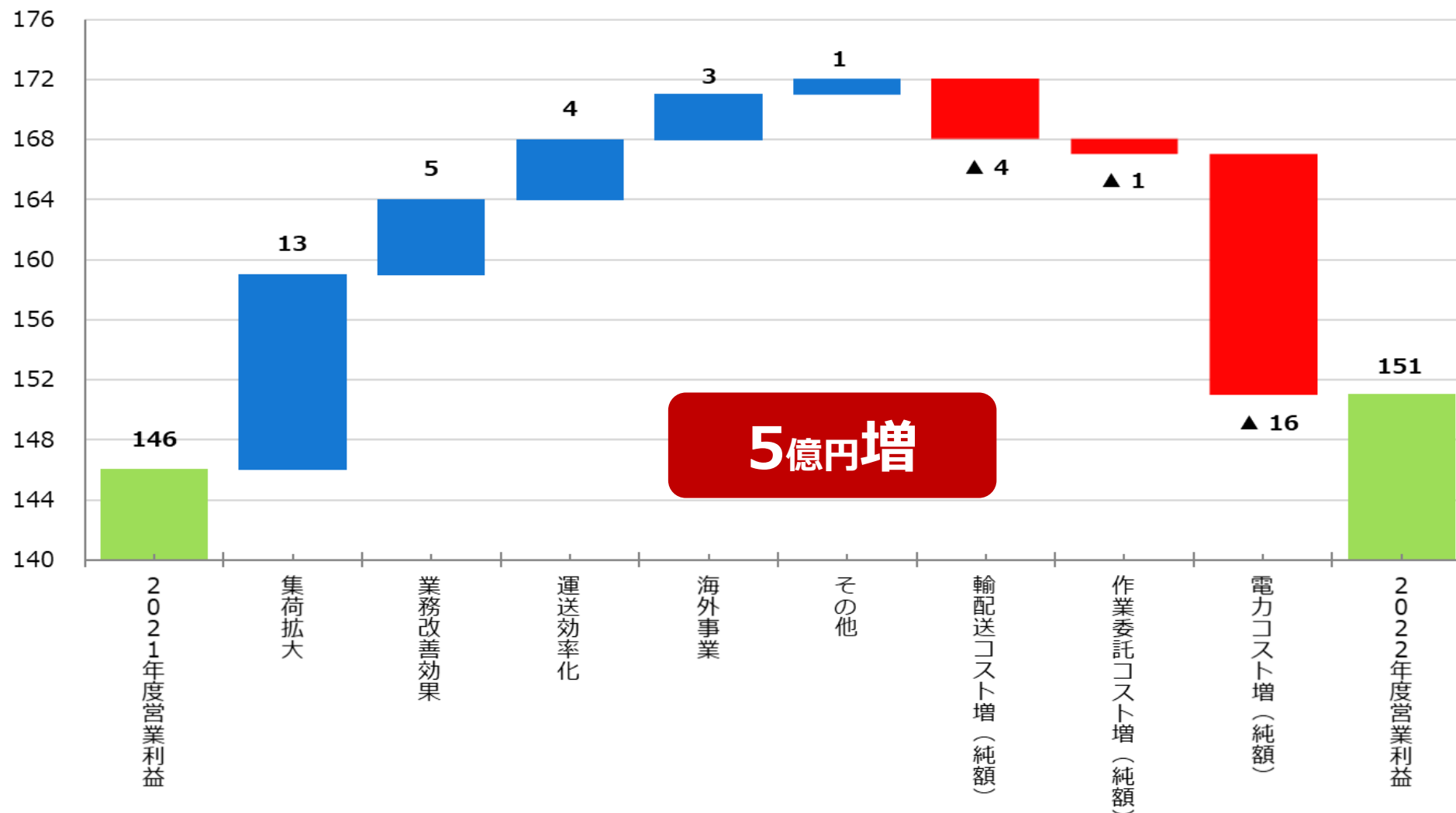
[連結：売上高の増減要因]



## 2. 2023年3月期 決算概要

### [連結：営業利益の増減要因]

単位：億円

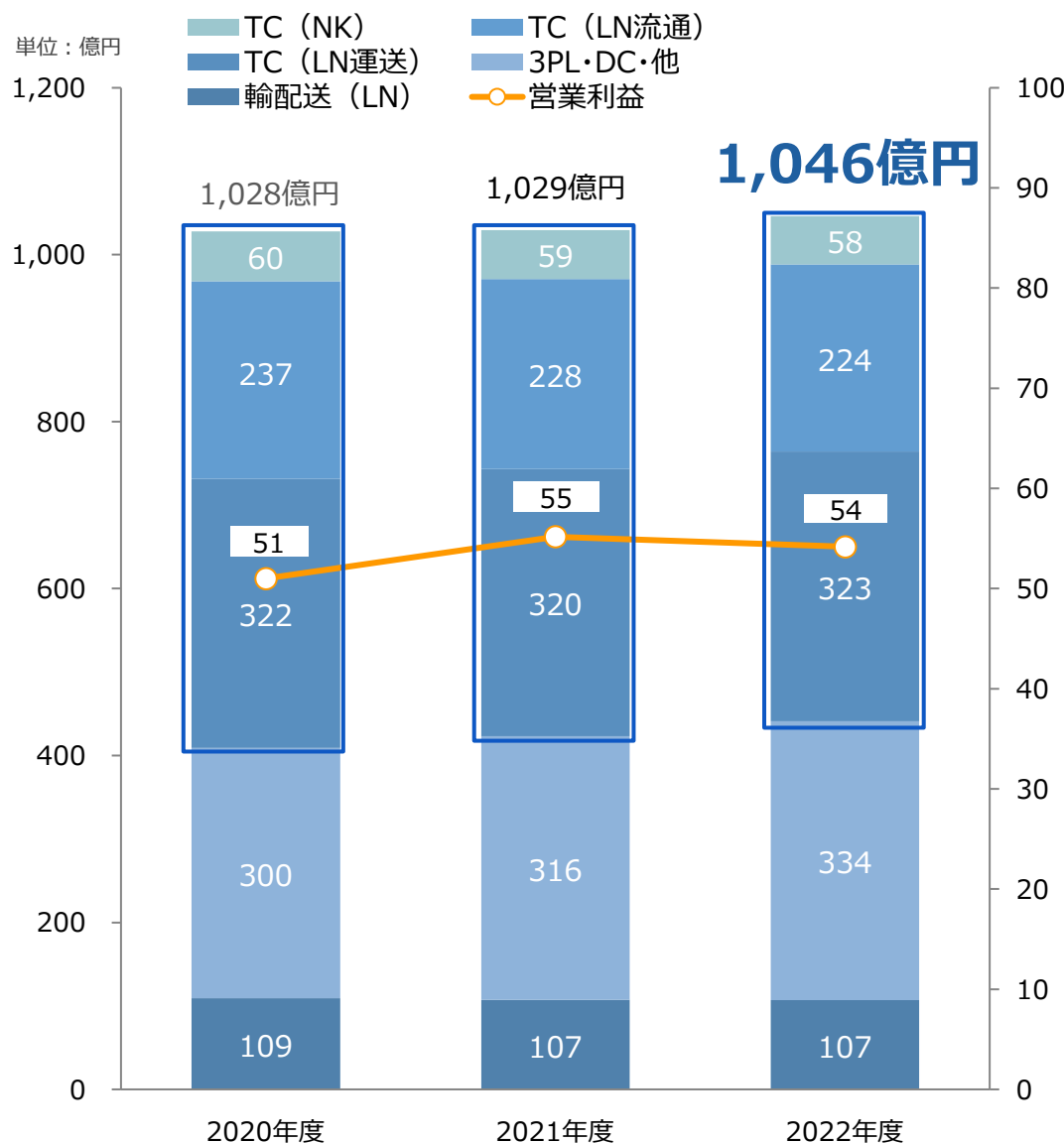




## 2. 2023年3月期 決算概要

### [物流ネットワーク事業]

#### 売上高・営業利益推移



#### トピックス

家庭用商材の需要一服、コスト上昇が響き減益も  
業務用商材の回復を着実に取り込み増収を確保

##### ■ TC事業

- 家庭用商材需要が落ち着き、電力等のコスト上昇影響を受けるも、店舗配送車両を活用した集荷拡大の推進により前期並みで推移

##### ■ 3PL事業

- 冷食物流プラットフォームの取り扱いが堅調に推移し伸長

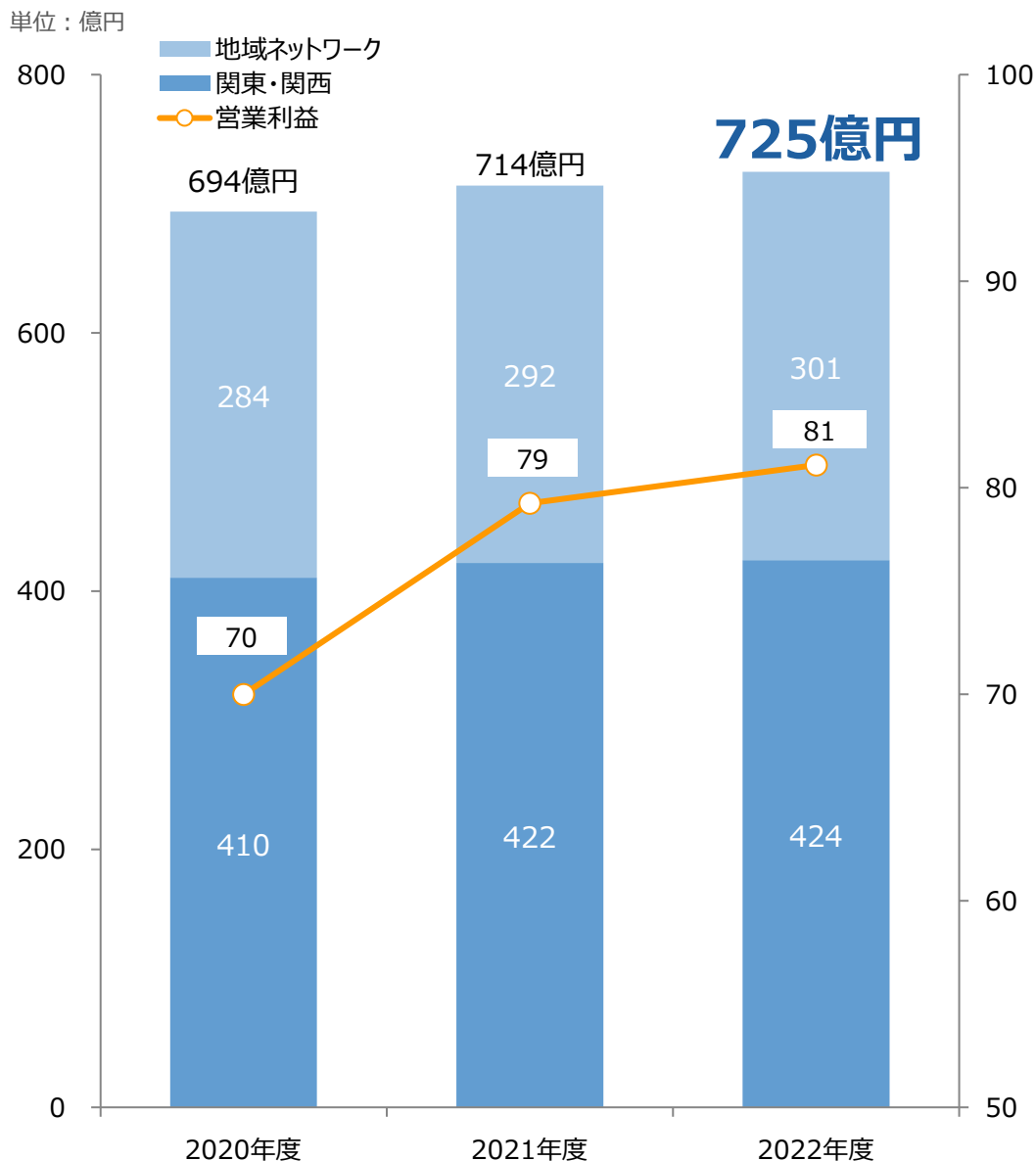
##### ■ 輸配送事業

- トラックドライバー2024年問題への対応に向けた効率化や基盤整備に注力

## 2. 2023年3月期 決算概要

### [地域保管事業]

#### 売上高・営業利益推移



#### トピックス

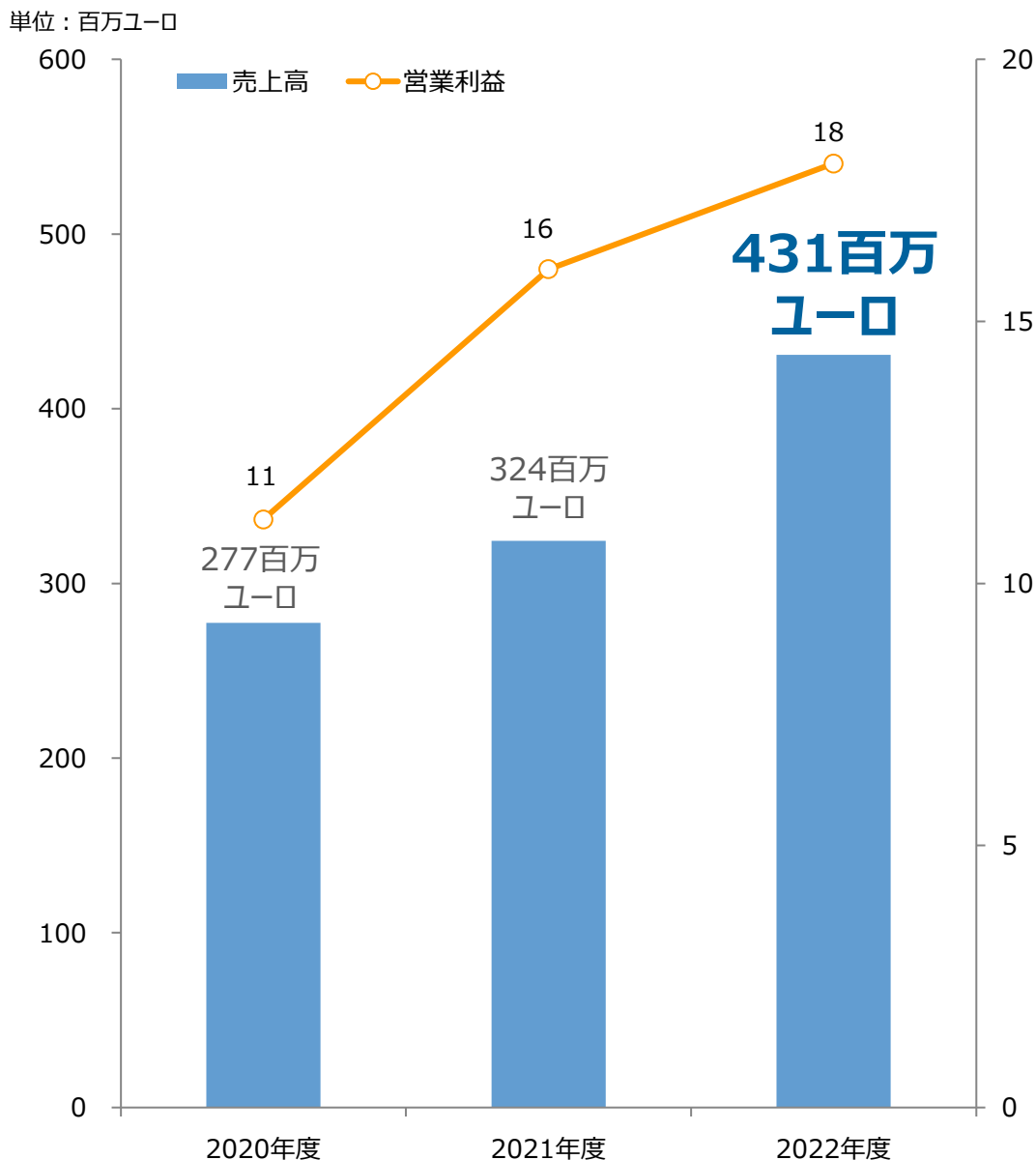
電力コスト高騰や庫腹逼迫の影響が続くも、各地域における運送需要取り込みが寄与し増益

- 保管
  - 輸入貨物の搬入は安定化、在庫水準が回復するなか、庫腹逼迫により再保管コストの負担が増加
  - 持続的な事業運営と安定したサービス維持のため、電力価格の変動に応じた付加料金を収受
- 運送
  - 各地域の特色や物流ニーズに応じた、保管との一体運営による集荷拡大や、業務・拠点の集約による積載率向上などが寄与して伸長

## 2. 2023年3月期 決算概要

### [欧州事業]

#### 売上高・営業利益推移



#### トピックス

買収効果が寄与し大幅増収も、各種コストの上昇影響を受け営業利益は微増にとどまる

- 全体
  - ・ ウクライナ情勢緊迫化に伴うエネルギー価格高騰をサーチャージや適正料金収受でカバー
  - ・ インフレ進行による消費の減退
- オランダ・英国・フランス（川上・川中事業領域）
  - ・ 前中計での買収・増設効果の発揮
  - ・ 物流混乱影響を受けるも鶏肉の物量回復
- ドイツ・ポーランド（川下事業領域）
  - ・ 物価高騰影響により小売り向け物量が停滞

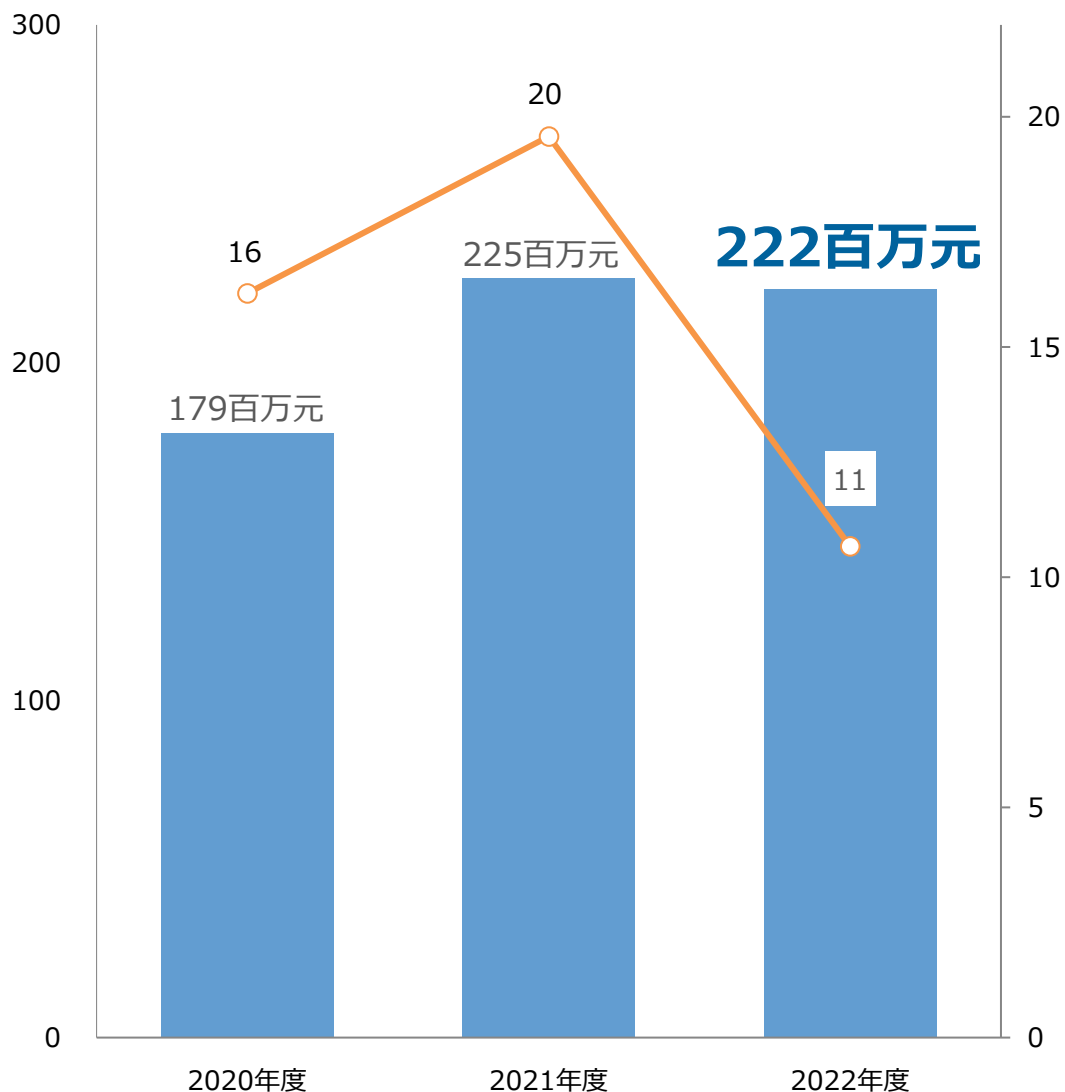
## 2. 2023年3月期 決算概要

### [中国事業]

#### 売上高・営業利益推移

■ 売上高 ○ 営業利益

単位：百万元



※2022年度はロックダウン影響による臨時費用の一部を特別損失にて計上

#### トピックス

#### ロックダウン及びゼロコロナ政策が響き、減収減益

- 上海エリア
  - 上海ロックダウン影響による各種コストの増加
  - ゼロコロナ政策継続による消費減退
- 江蘇・南京エリア
  - 断続的な行動制限による物量停滞
  - 南京常温物流センターの安定稼働による華東地区でのさらなる事業拡大

# 【トピック】 冷蔵・冷凍EVトラック 導入

- 改正省エネ法対応と低炭素社会への適応に向けた実証実験
- 関東地区に3台導入（23年度中に東海地区へ2台導入予定）

EVトラック車両



急速充電設備



日本では実例の少ない  
低温EVトラックに関する  
運行知見の積み上げと  
将来の本格導入準備

CO2排出削減による  
環境負荷逡減を通じた  
持続可能なサプライチェーンと  
循環型社会の実現

# 【トピック】霧島酒造様とのサステナビリティの取り組み

- 霧島酒造様の焼酎製造副産物リサイクル活動の一部において協働運用を開始
- 物流受託企業として初めて本協働運用に参画

流通加工過程で発生する芋くず



霧島酒造様



カーボンニュートラル実現に向けた循環サイクルの実践

バイオガスの生成・有効利用

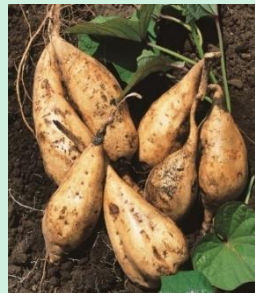


流通加工・冷凍保管業務を受託

ニチレイロジグループ



サツマイモ



ガス生成の残渣を堆肥化、地域の電力へ（売電）

生産者様・地域社会



## 1. 企業概要

## 2. 2023年3月期 決算概要

## 3. 中期経営計画

### ① 進捗状況

### ② 2023年度重点施策

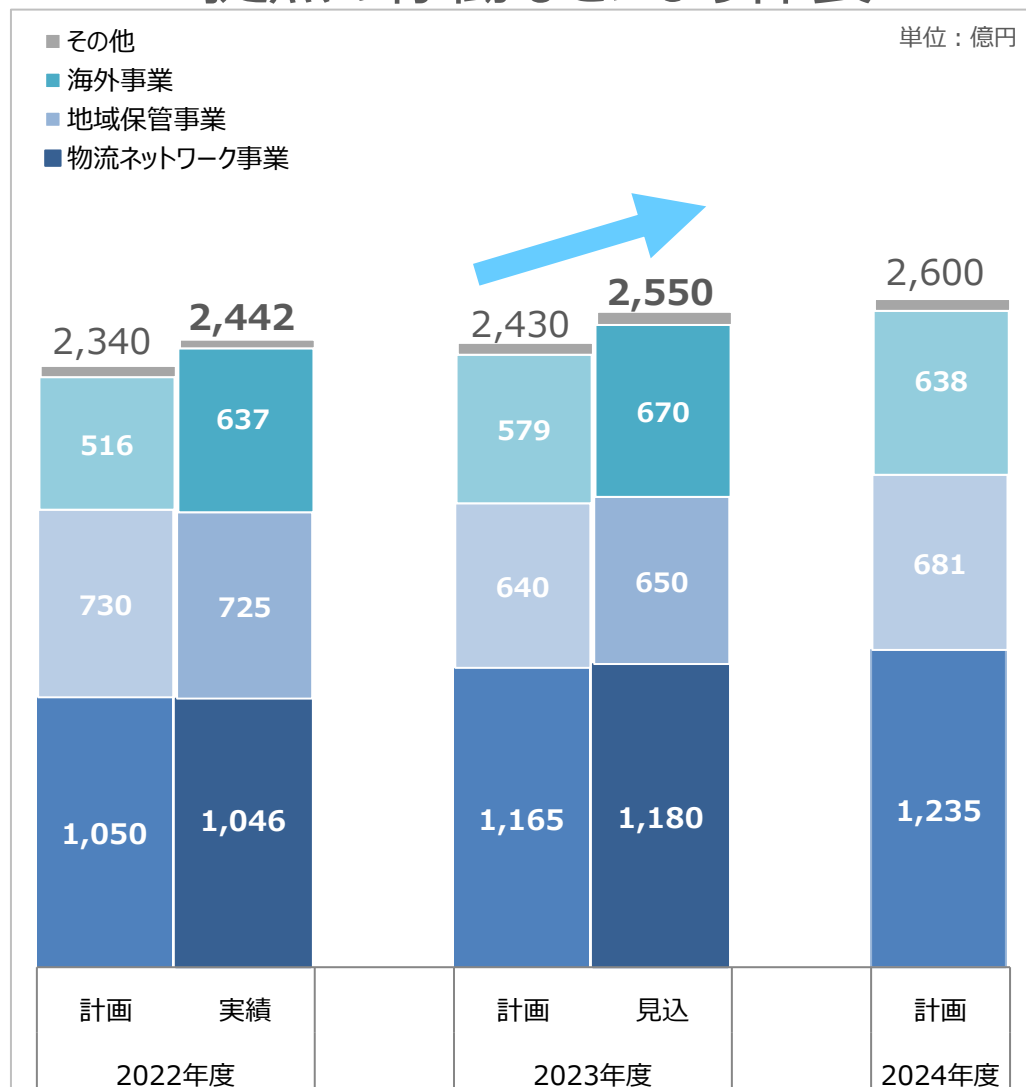
## 4. 参考資料

# 3-①. 中期経営計画（2022-2024）進捗状況

## [業績進捗]

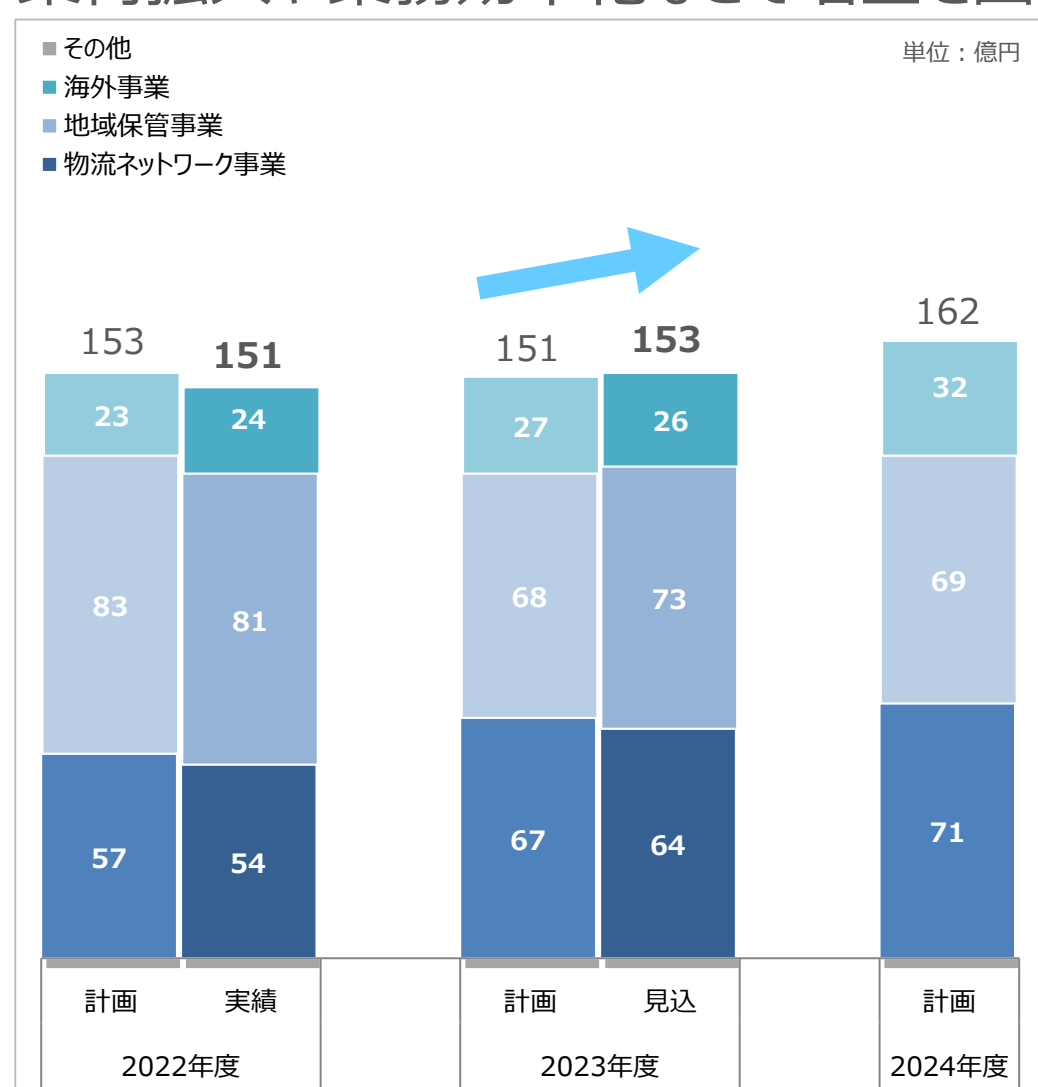
### 売上高

国内外での集荷拡大及び国内新設拠点の稼働などにより伸長



### 営業利益

各種コスト高騰影響の一部軽減とともに集荷拡大や業務効率化などで増益を図る





# 3-②. 広域幹線輸送における基盤強化

- トラックドライバー2024年問題への対応に向けたゲートウェイ機能の拡充
- 自社トレーラー活用による次世代輸配送スキーム「SULS」のさらなる拡大

## ゲートウェイ機能の拡充（幹線中継）

## 輸配送ネットワークの拡充（トレーラー）

22  
年度

### 厚木ゲートウェイ(GW)稼働

【効果】

- ・西向き貨物一元化による総運行時間の削減
- ・パレタイズ化による乗務員作業時間の削減（東海拠点折り返しによる日帰り運行を実現）

### SULSによるパレタイズ運行の定着

【効果】

- ・乗務員の荷役作業削減による輸配送効率化
- ・24枚積み自社トレーラー活用による輸送能力の増大（運行時間短縮と積載物量増加を実現）

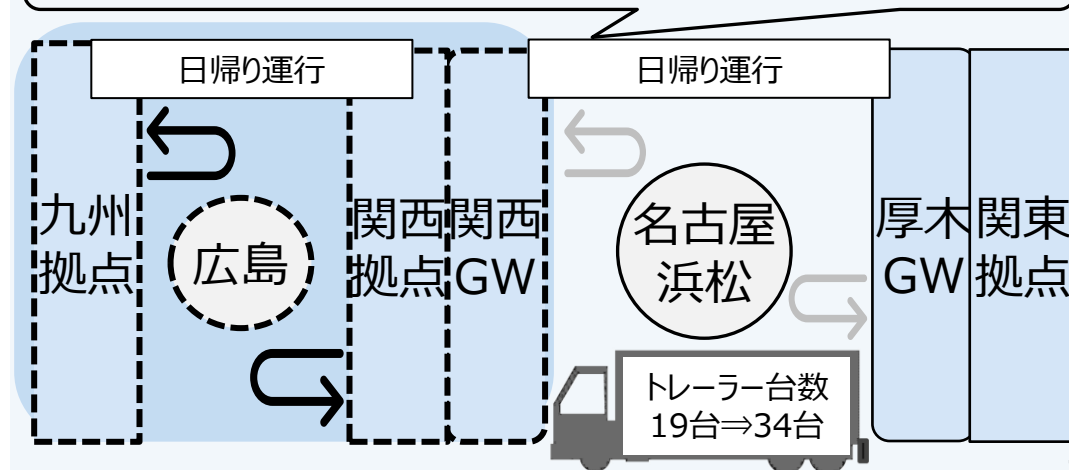
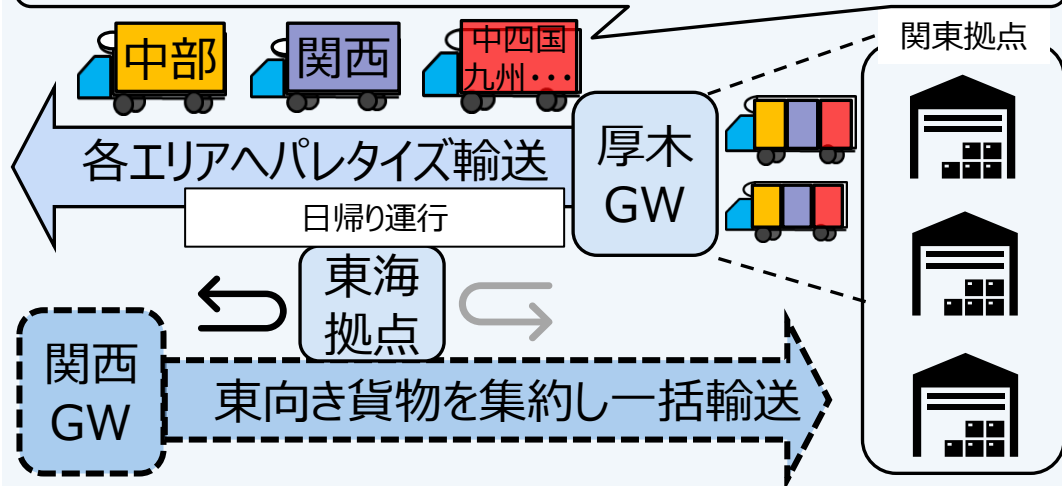
23  
年度

### 関西GW稼働により東向き輸配送でも 関東発同様の効果を創出

### トレーラー台数の増強による東名阪エリアにおける SULS稼働拡充と東名阪以外への運行エリア拡大

関東⇔東海間往復での日帰り運行が可能となり、1泊2日から12時間に短縮

- ・荷役作業削減により関東⇔関西間往復を4泊5日から1泊2日に時間短縮
- ・片道輸送貨物量を16枚積み10トン車比で1.5倍に増加

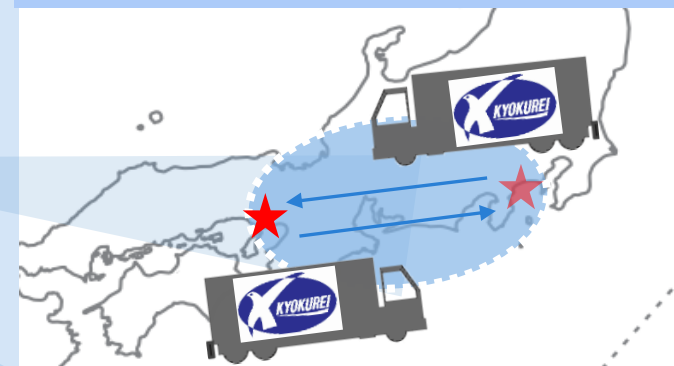


# 3-②. キョクレイ神戸六甲物流センター稼働

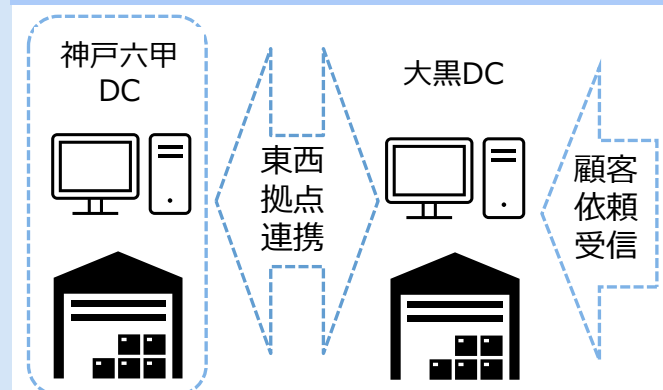
- トラックドライバー2024年問題への対応としての関東・関西エリア輸配送スキームの構築
- 通関・流通加工機能に基づいた高付加価値ワンストップサービスの西日本エリア展開
- 関東・関西拠点間での顧客アカウント一本化によるシームレスな顧客価値提供

## 果汁・乳製品取扱に強みを持つキョクレイスタンダードの関西エリア展開

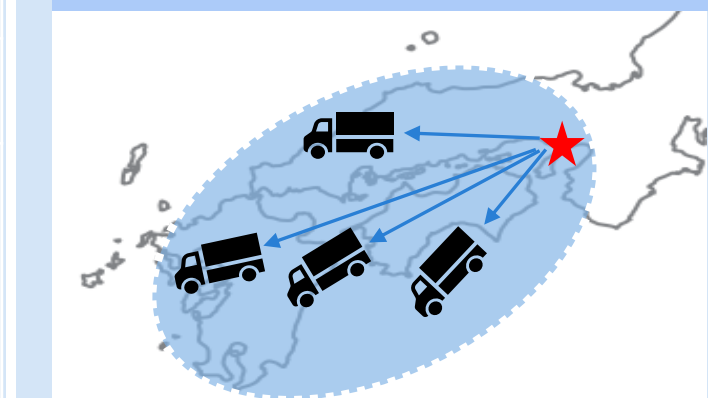
キョクレイライナー便の構築  
(荷役分離による運行時間短縮)



顧客窓口を大黒DCに集約し、  
二拠点間で情報・物流を高度連携



神戸六甲DCを起点とした西日本エリア  
顧客向け域内配送スキームの構築



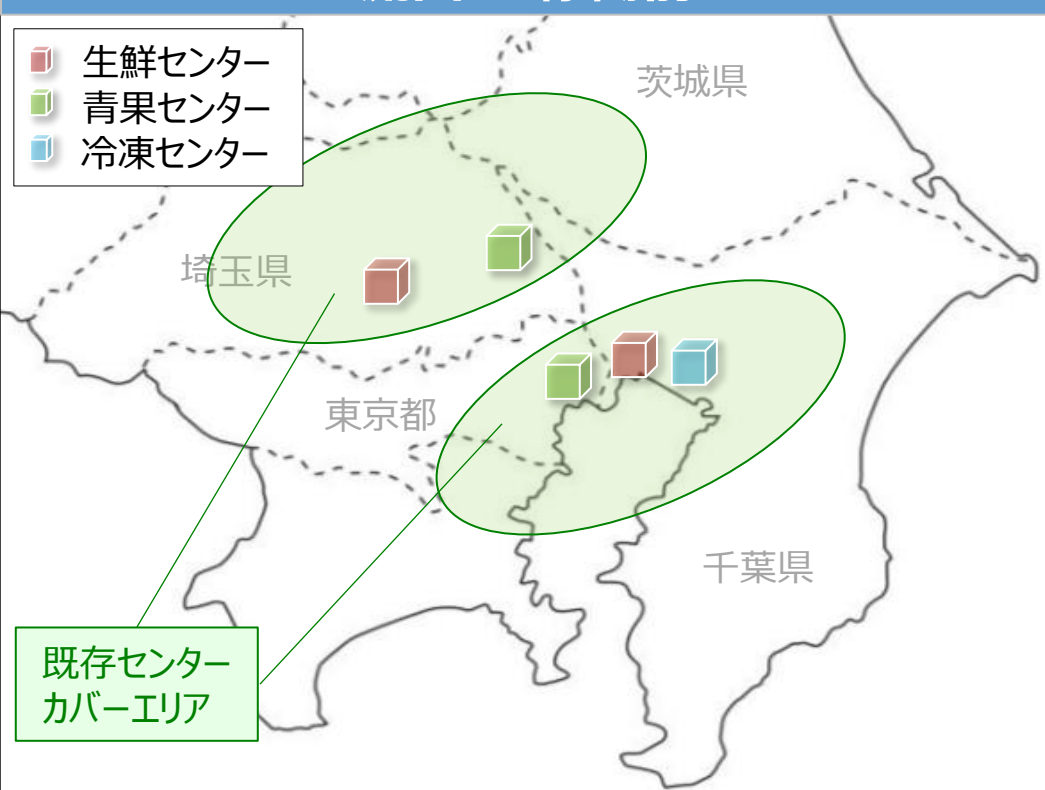
竣工	2024年1月
設備能力	24,100トン(F級:10,560トン FC級:7,560トン C級:5,980トン)
建築構造	冷蔵棟：RCS造4階建(免震) 事務棟：鉄骨造3階建(耐震)
設置機能	シャトルラック、検品室、解凍室 (廃熱利用)、多温度対応収容室、 パレットチェンジャー、顔認証セキュリティ システム、太陽光発電設備

## 3-②. 小売業様向け専用センター設置による効率化

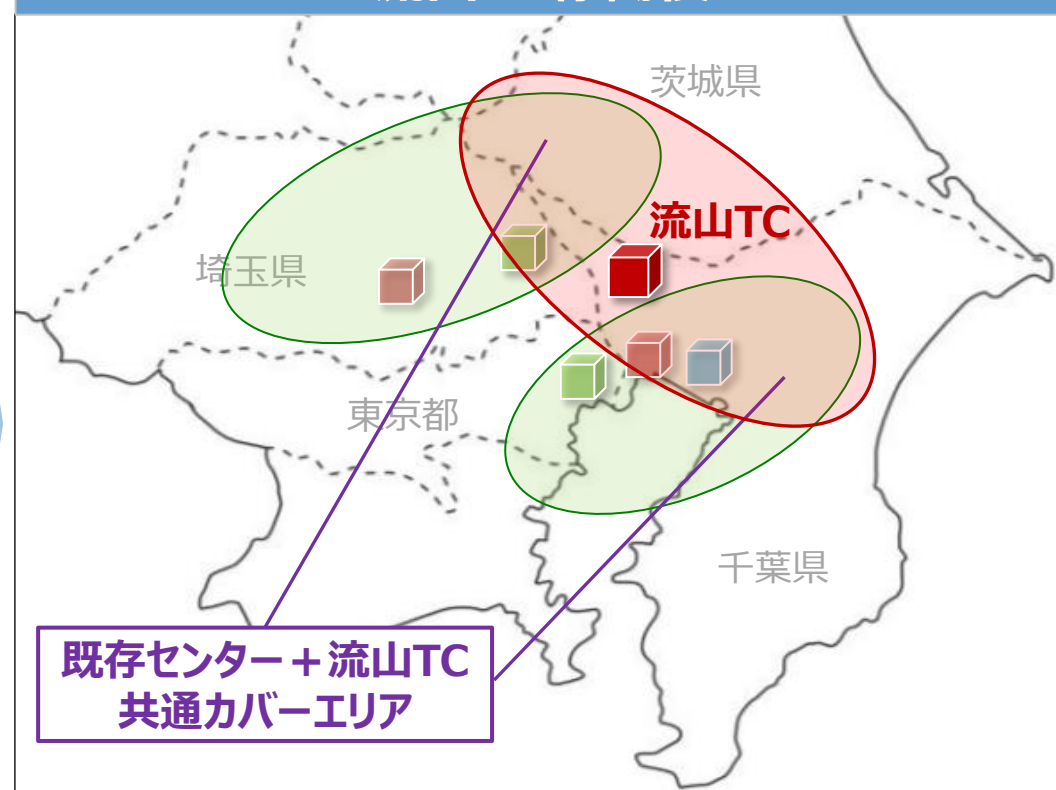
〔(株)イトーヨーカ堂様向け 流山TC 2023年3月開設〕

- イトーヨーカ堂様向けセンター当社運営6拠点目となる流山TCの稼働
- 首都圏での複数拠点受託による効率的なセンター運営の実現

### 流山TC稼働前



### 流山TC稼働後



複数拠点運営による  
提供価値向上

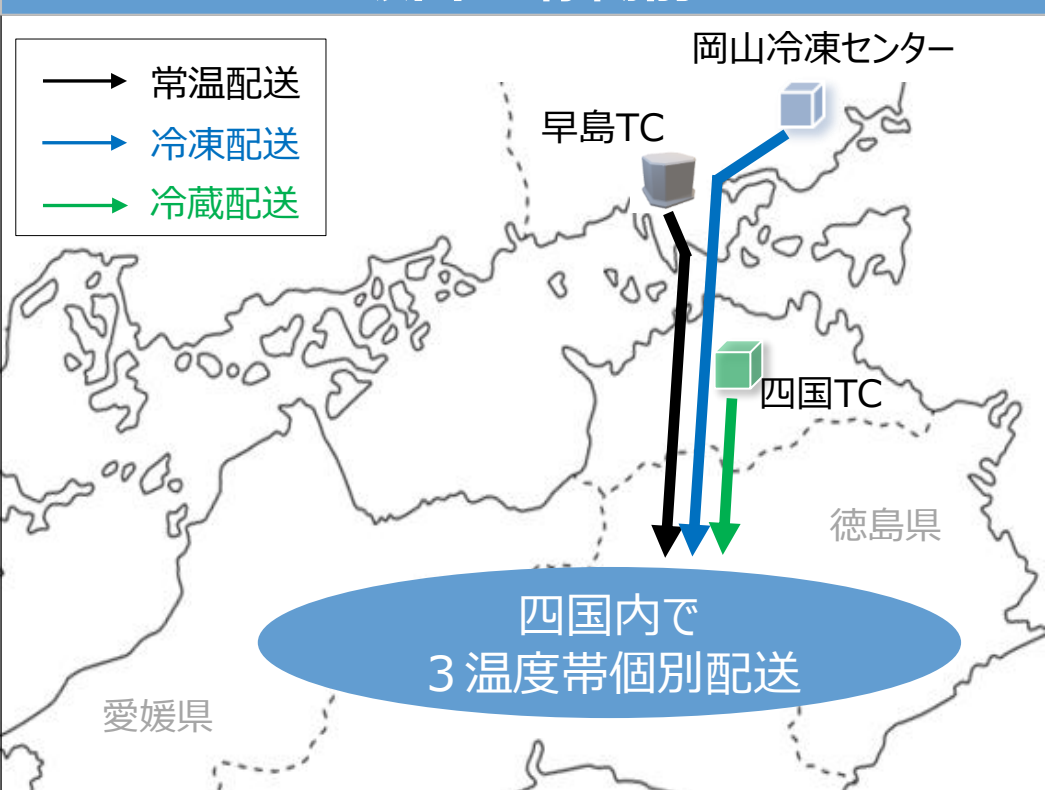
- ✓ 共通カバーエリアでの貨物混載配送などによる積載向上と車両の相互活用
- ✓ リモート事務処理などによる事務・管理体制の省人化

### 3-②. 小売業様向け専用センター設置による効率化

[(株)ハローズ様向け 坂出TC 2023年4月開設]

- ▶ ハローズ様向けセンター四国エリアにおける3温度帯TCの稼働
- ▶ トラックドライバー2024年問題対応に向けた車両高度活用の実現

#### 坂出TC稼働前



#### 坂出TC稼働後



3温度帯対応による  
提供価値向上

- ✓ 複数温度帯での貨物混載配送による積載率向上
- ✓ 配送距離の大幅な短縮、車両回転数アップ

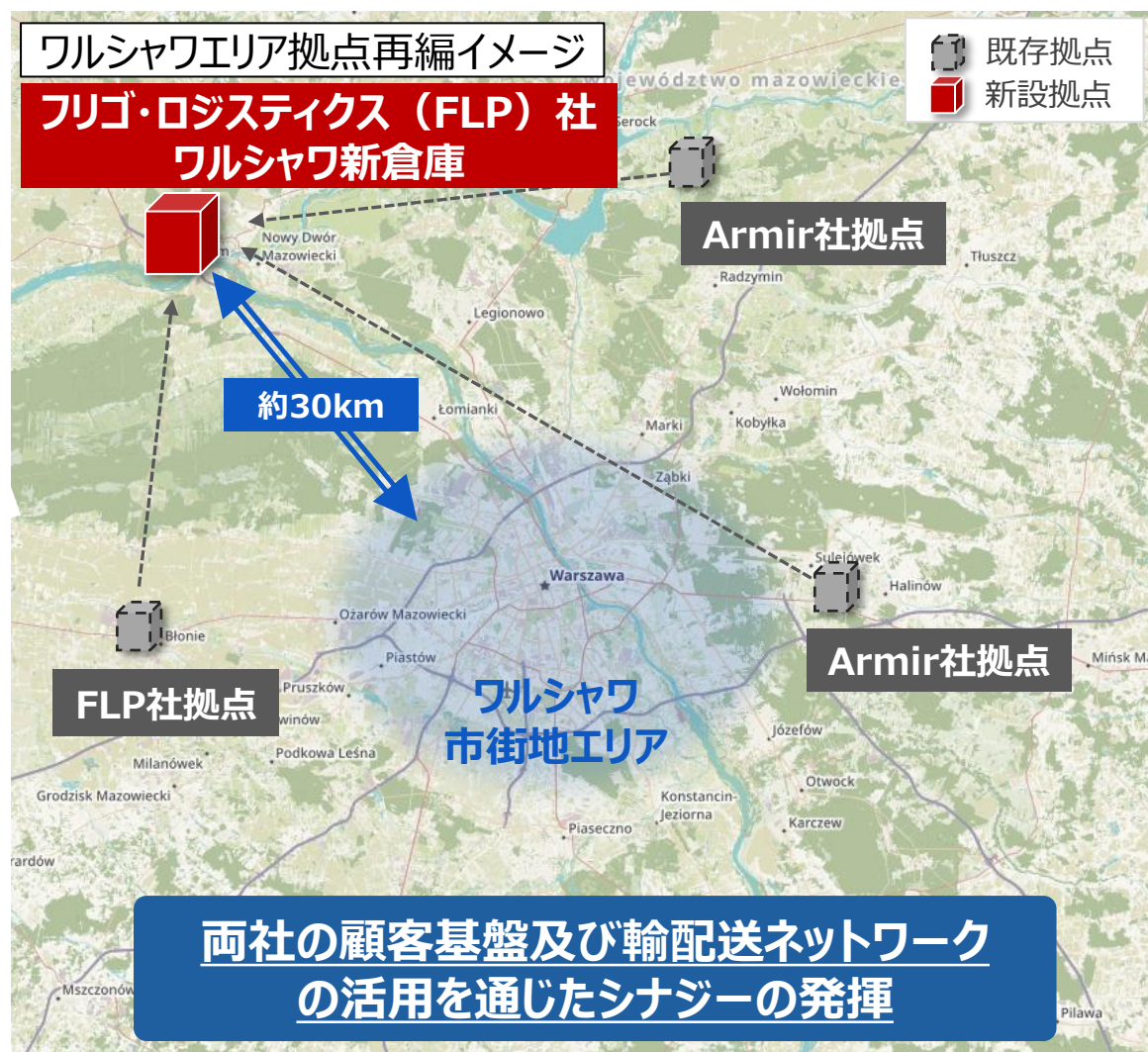
[動画：欧州事業紹介]



**動画投影**

## 3-②. ポーランド ワルシャワ倉庫の新設

- ワルシャワ首都圏の旺盛な保管・運送ニーズのさらなる獲得
- ワルシャワ地区拠点集約による運営効率化を通じた2社のシナジー効果の創出

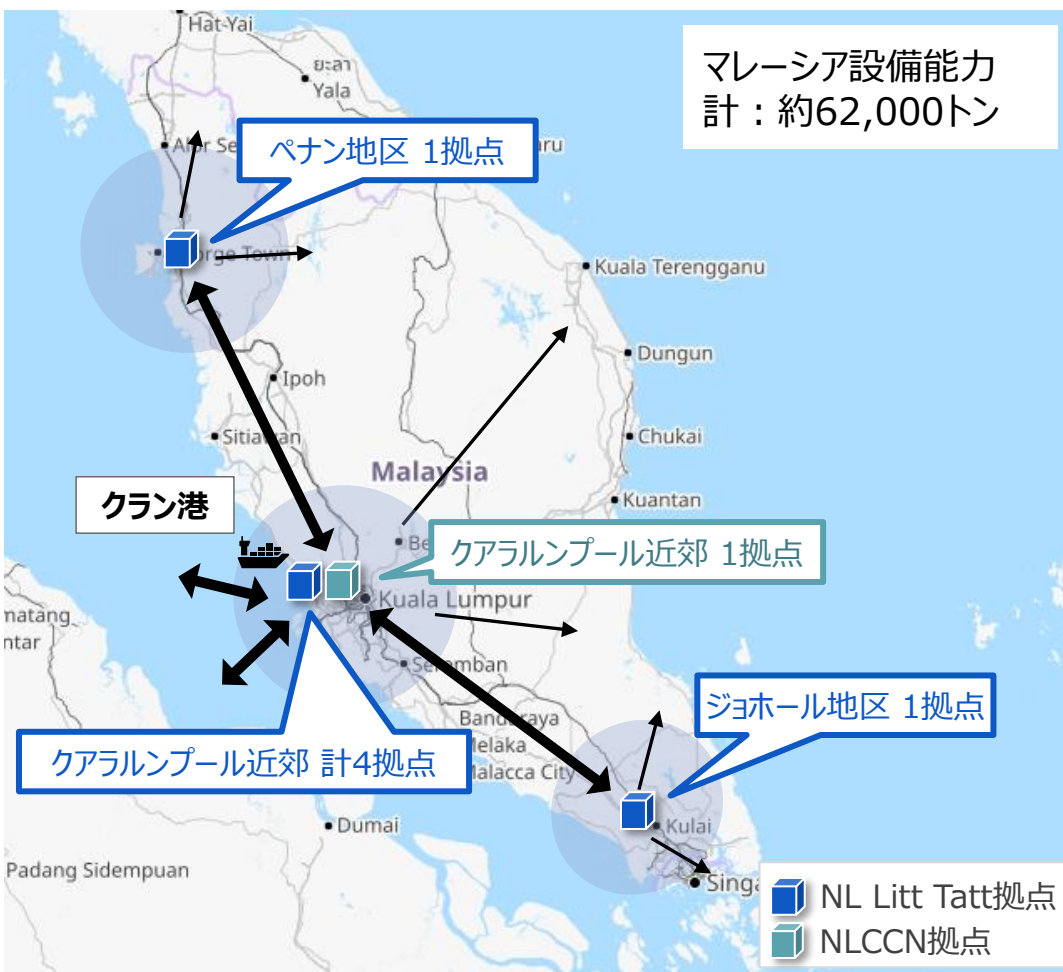


所在地	ノヴィドゥヴル市 (ワルシャワ市街地より約30km)
設備能力	約20,000パレット
稼働予定	2024年下期
機能・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍品の保管・配送一貫サービスの提供</li> <li>・ワルシャワ向けをメインとするクロスドック機能</li> <li>・自動庫及び太陽光パネルの設置</li> </ul>

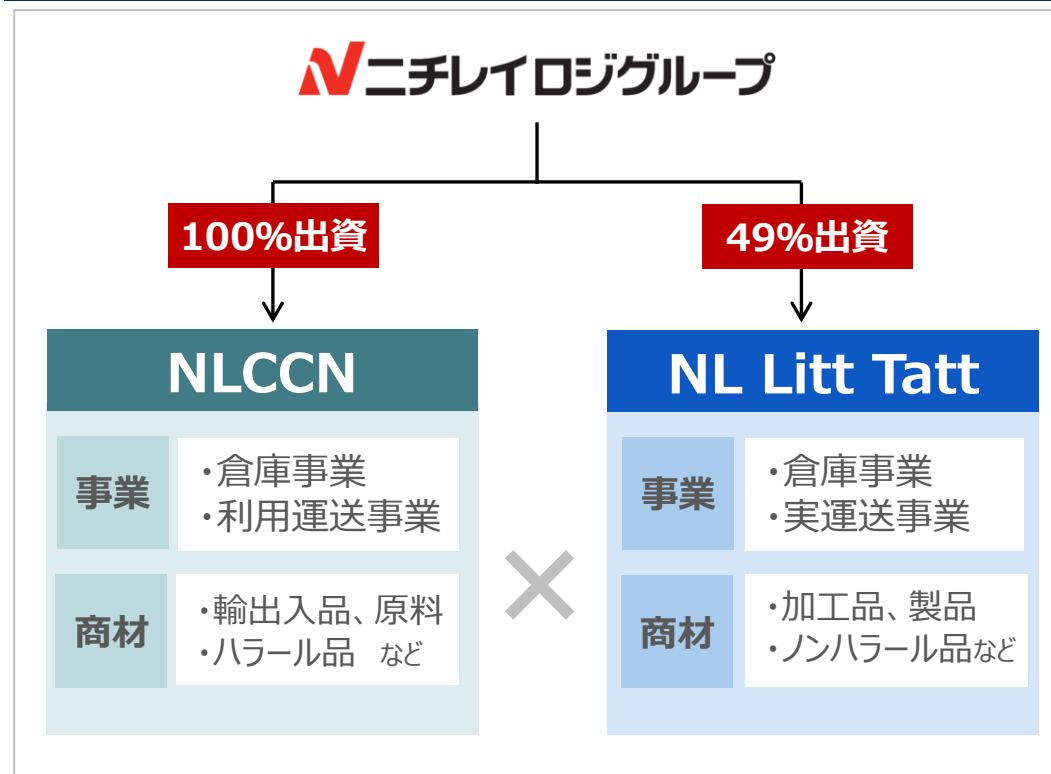
### 3-②. マレーシア事業のさらなる拡大

- NLCCNの完全子会社化の実現（2023年2月28日付）
- 事業会社2社の連携強化によるマレーシア低温物流需要のさらなる獲得

#### 現在の事業展開状況



#### マレーシア事業体制



マレーシアにおけるさらなる事業拡大

## 3-②. ベトナム進出

- ASEAN 3ヶ国目となる進出、ホーチミンエリアに冷蔵倉庫新設を予定
- 将来的には既存事業（タイ・マレーシア）との連携も検討

### 合併パートナー概要

#### Tan Bao An Logistics Joint Stock Company (TBA)



代表取締役 社長	Nguyen Quoc Bao氏
所在地	ホーチミン市
事業内容	低温運送事業



合併会社設立を祝う調印セレモニーを開催（2023年3月15日、当社ビル）

### 進出の背景

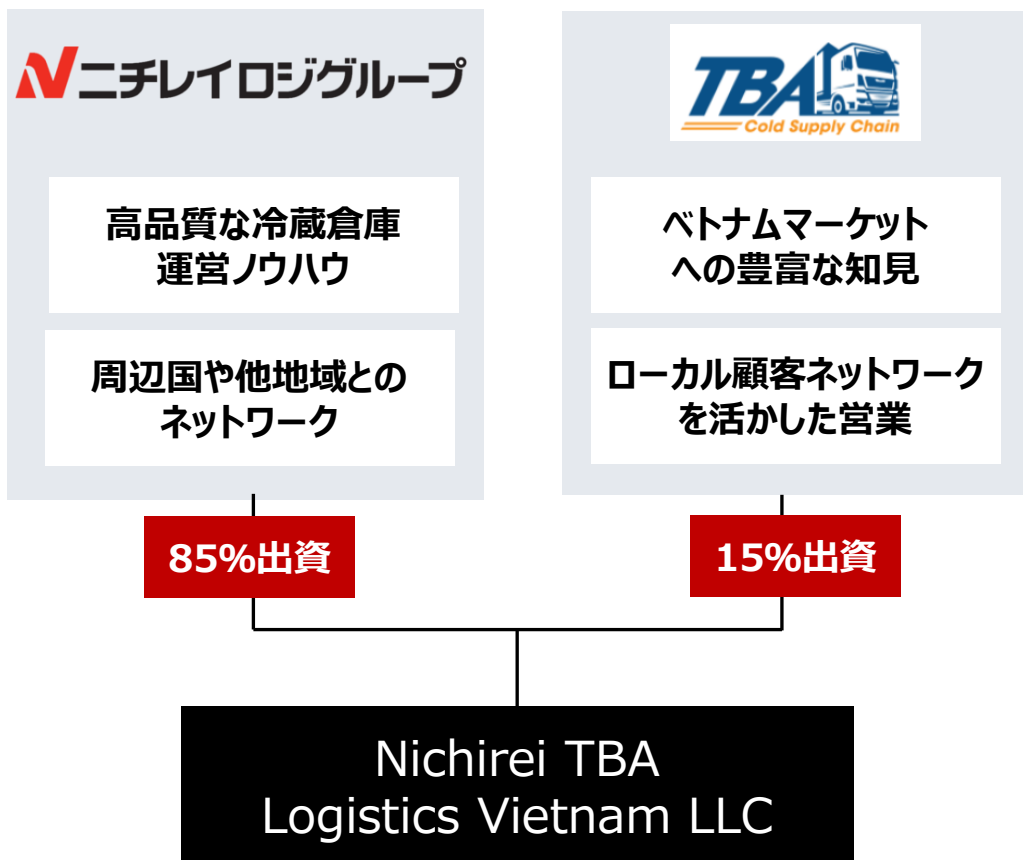
社会	ホーチミンエリアを中心に人口増加が継続する見込み (2024年には1億人を突破する見通し)
経済	直近では1人当たりGDP 4,000USDを突破 (2020年にフィリピンを上回る水準に到達)
市場環境	輸出 農林水産物を中心とした巨大市場
	輸入 生活水準の向上に伴う内需の拡大

将来の低温物流市場の成長を見込む

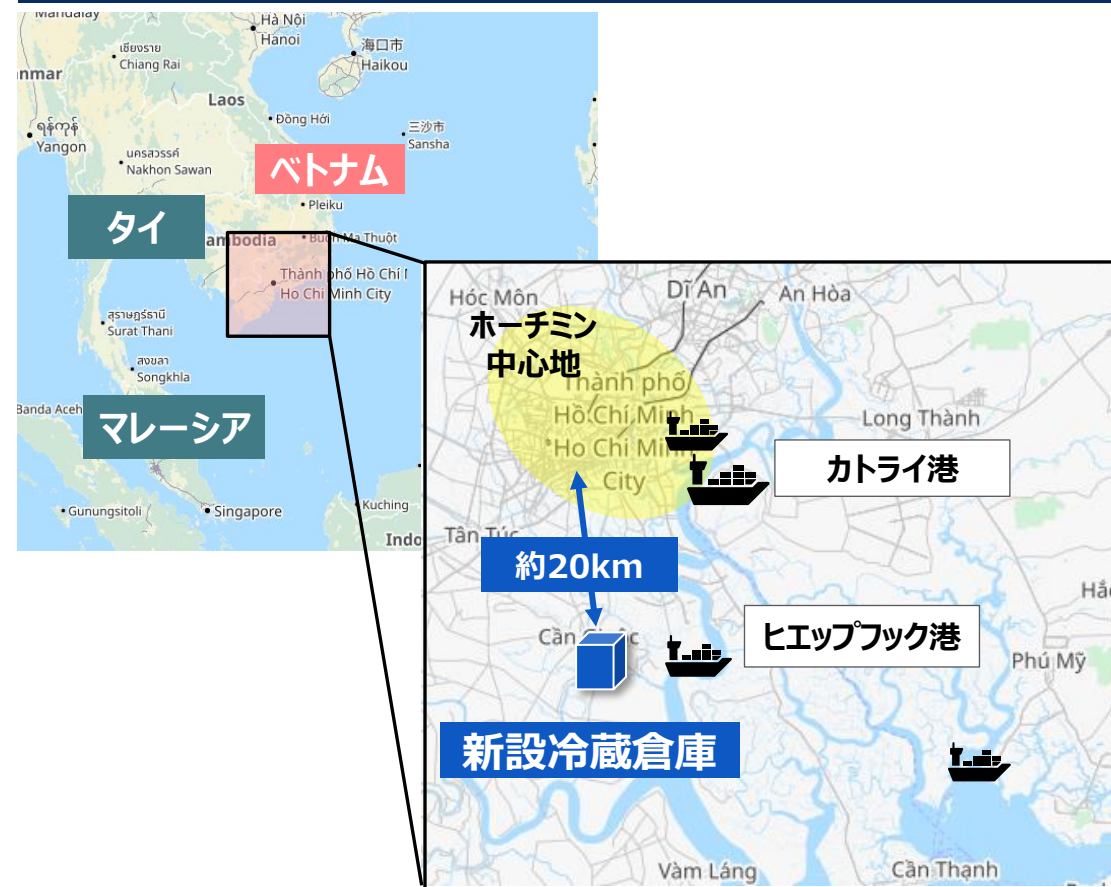


# 3-②. ベトナム進出

## 進出スキーム（2023年度末時点）



## 新設冷蔵倉庫の概要



© OpenStreetMap contributors

### 《合併会社概要》




所在地	ロンアン省ロンハウ工業団地内 (ホーチミン中心地より約20km南)
資本金	約4,800億ベトナムドン (約27億円)
事業内容	冷蔵倉庫業、利用運送業

### 《新設冷蔵倉庫の概要》

設備能力	約20,000パレット (冷凍・冷蔵・定温)
機能	保管、急速凍結・クロスドック
稼働予定	2024年度中の稼働を予定

## 3-②. 業務革新のさらなる推進

### [各種業務革新施策の進捗]

	進捗	23年度施策
事務業務 (RPA) 	RPA化年間36万時間達成	リモート環境下でのRPA化体制の構築
車両管理 (トラック予約) 	トラック予約機能50拠点 導入完了	完全予約制導入済30拠点における予約 車両60%の待機時間を30分以内に削減
庫内作業 (タブレット) 	出荷検品機能導入に向けた 実証実験	冷凍食品の取扱いをメインとする17拠点への 出荷検品機能を導入

### [動画：業務革新施策紹介]



# 動画投影

# 3-②. 業務革新とダイバーシティのさらなる推進

## [進捗と23年度の施策]

### 業務革新

### ダイバーシティ



### 自動化・省力化運営

### DX（業務遠隔管理）

### 多様な働き方の実現

進捗

冷凍版AGVの実証実験および  
庫内水平搬送ラックの実用化

全国3カ所でのSateCo  
開設・XR技術トライアル

ロジグループ社内副業制度（ロジ  
パラレルワーク制度）の導入準備

23  
年度  
施策

各業務革新技術機器の連動に  
よる全体最適効果の実現と庫内  
作業オートメーション化に向けた  
取り組み推進

拠点間での事務業務  
シェア・遠隔操作による  
現場オペレーションや受付  
業務のリモート化を計画

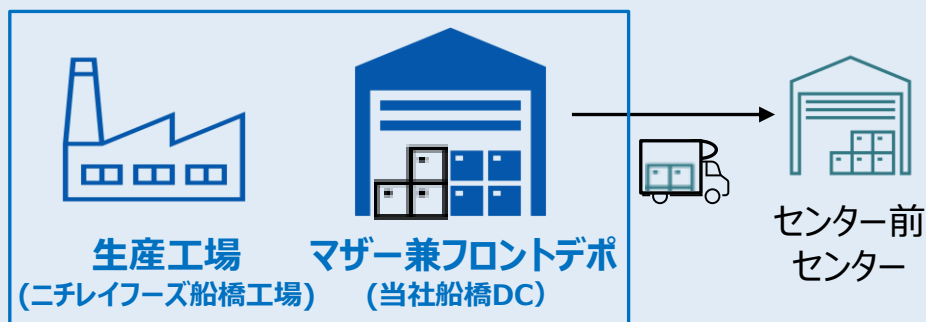
中長期的なキャリア形成機会の  
創出を目的とした業務互換推進の  
ほか、作業負荷分散とノウハウ共有  
による業務効率化効果の創出

### 3-②. サステナビリティ実現に向けた取り組み

[船橋市日の出エリア（ニチレイ船橋エリア）グループ拠点連携による電力由来CO2排出量ゼロ構想]

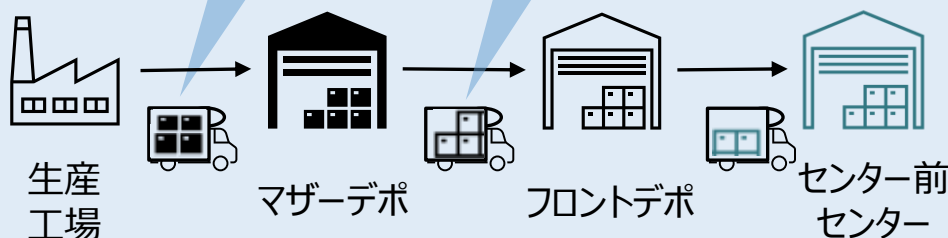
- 生産工場と物流拠点が隣接する立地特性を生かしたCO2排出抑制
- 太陽光発電設備やオフサイトPPAなどによる実質CO2排出量ゼロ化へ

#### ニチレイ船橋エリアでの物流

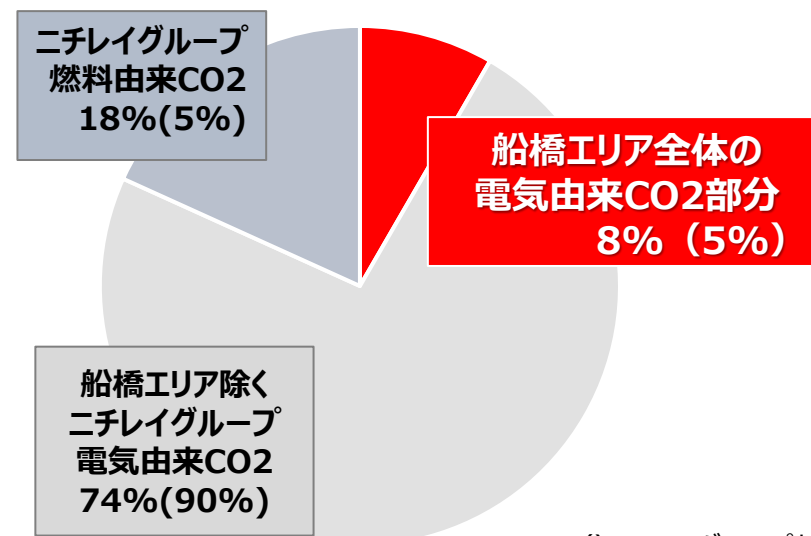


生産工場からマザー間、マザーからフロント間の転送不要

#### 一般的な物流



ニチレイグループ全体で、電気使用量が最も大きい船橋エリア(国内CO2排出量の約8%)  
⇒本運用の実現で実質CO2排出量ゼロ化へ



※ ( ) …ロジグループ割合

## 1. 企業概要

## 2. 2023年3月期 決算概要

## 3. 中期経営計画

### ①進捗状況

### ②2023年度重点施策

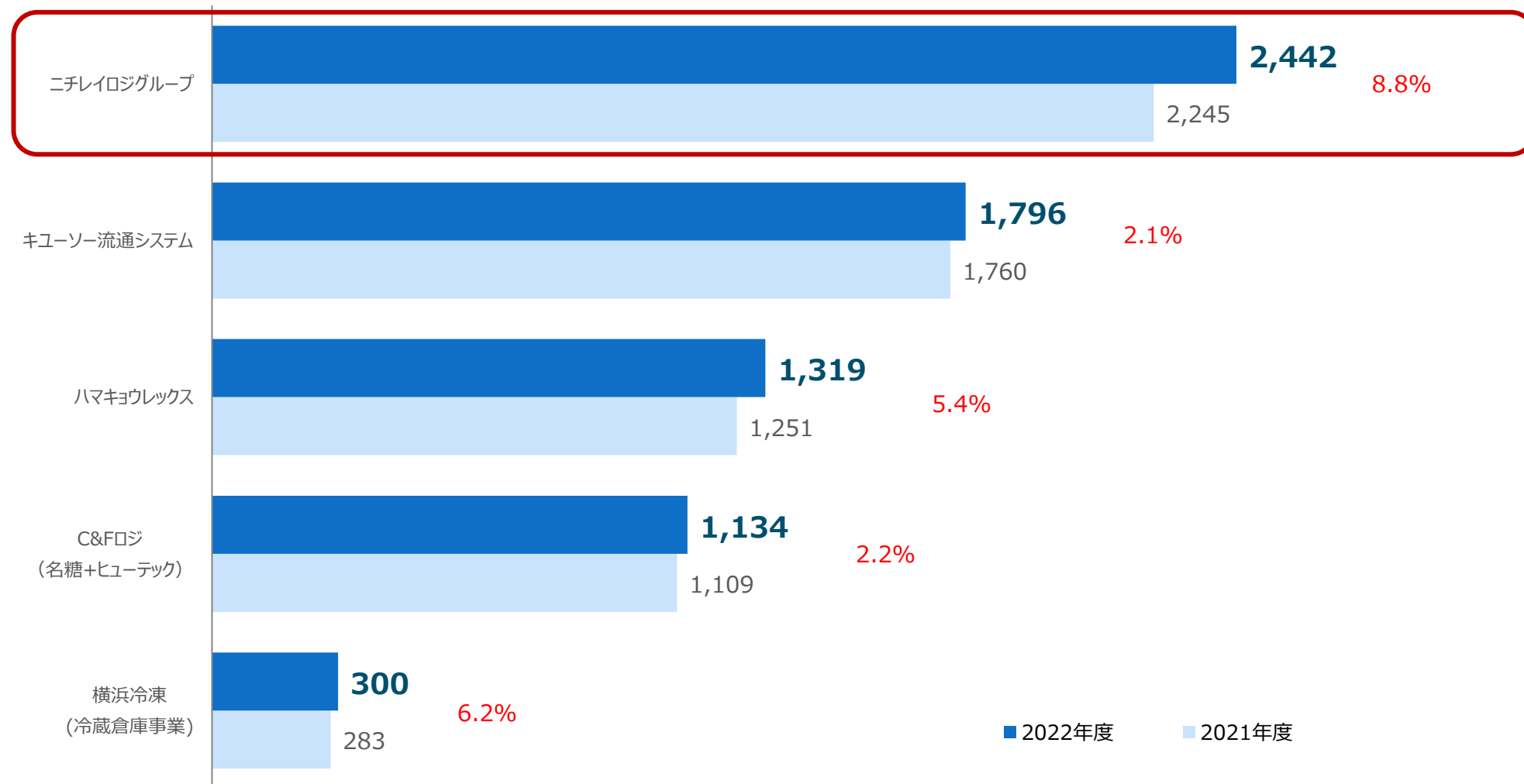
## 4. 参考資料

# 4. 参考資料

## [ポジション①]

単位：億円

### 主要低温物流企業の売上高



※低温物流を主とする物流会社を選定

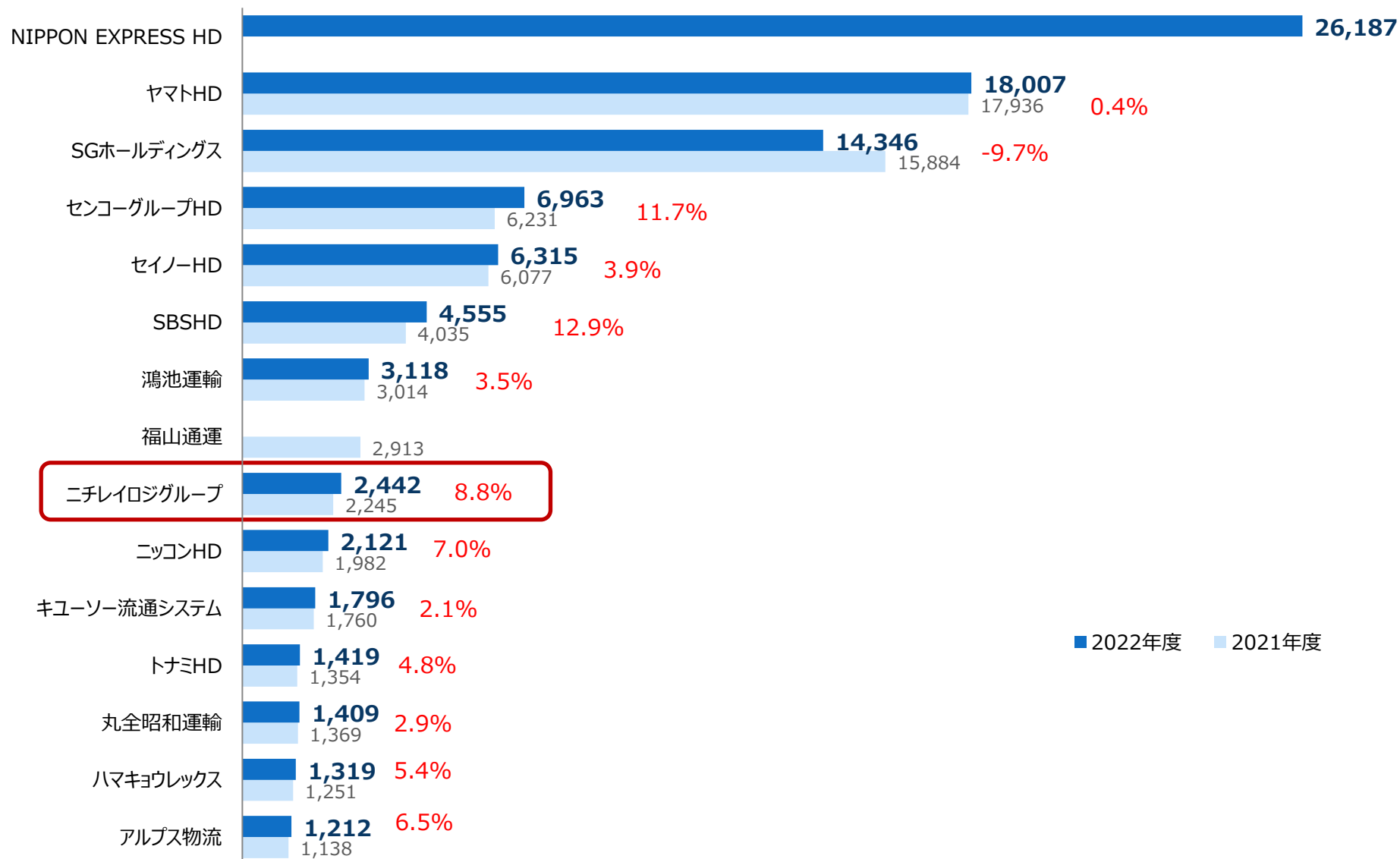
※各社決算短信（2023年5月12日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成。

# 4. 参考資料

## [ポジション②]

### 主要物流企業（陸運）の売上高

単位：億円



※トラックによる輸送を主とする物流会社を選定

※各社決算短信（2023年5月12日時点の最新版）における年度実績数値を基に作成。決算未発表会社の業績については空白。

## 4. 参考資料

### [ポジション③]

#### 冷蔵倉庫設備能力国内ランキング(推計)

順位	会社名	設備能力(ト)	全国シェア
1	ニチレイロジグループ	1,553,730	8.9%
2	横浜冷凍(株)	947,351	5.4%
3	(株)マルハニチロ物流	660,820	3.8%
4	東洋水産(株)	552,390	3.2%
5	(株)C&Fロジホールディングス	441,920	2.5%
6	日水物流(株)	437,226	2.5%
7	(株)松岡	362,716	2.1%
8	(株)ランテック	310,888	1.8%
9	(株)キューソー流通システム	284,270	1.6%
10	鴻池運輸(株)	247,975	1.4%
11	(株)日本物流センター	239,631	1.4%
12	(株)二葉	234,087	1.3%
13	五十嵐冷蔵(株)	224,193	1.3%
14	(株)ハウスイ	215,180	1.2%
15	(株)兵食	175,973	1.0%
16	第一倉庫冷蔵(株)	158,424	0.9%
17	藤林グループ	155,698	0.9%
18	日本デリーネット(株)	133,980	0.8%
19	寶船冷蔵(株)	125,199	0.7%
20	ムロオ	124,898	0.7%

※出所：日本冷蔵倉庫協会「冷蔵倉庫の諸統計 2021年版」をもとに加工

#### 冷蔵倉庫設備能力世界ランキング

No	Company	Locations	Capacity(m3)
1	Lineage Logistics	United States, etc	73,498,895
2	Americold Logistics	United States, etc	39,962,999
3	United States Cold Storage	United States, etc	11,987,322
4	NewCold Cooperatief U.A.	United States, etc	6,091,628
5	Nichirei Logistics Group, Inc	Japan, etc	5,639,159
6	Interstate Warehousing, Inc	United States	3,277,258
7	Frialsa Frigorificos S.A. De C.V.	Mexico	3,075,584
8	VersaCold Logistics Services	Canada	2,988,302
9	VX Cold Chain Logistics	China	2,766,862
10	Constellation Cold Logistics	Belgium, etc	2,487,377
11	Superfrio Logistica Frigorificada	Brazil	2,145,395
12	Serbom Armazen Gerais Frigorificos	Brazil	1,923,356
13	Conestoga Cold Storage	Canada	1,821,163
14	Congebec Logistics, Inc.	Canada	1,723,556
15	RLS Logistics	United States	1,671,502
16	Burriss Logistics	United States	1,667,505
17	Emergent Cold LatAm	United States	1,332,702
18	Friozem Armazens Frigorificos Ltda.	Brazil	1,055,999
19	Magnavale Ltd.	United Kingdom	1,034,809
20	Confederation Freezers - Brampton	Canada	976,789

※出所：IARW(世界冷蔵倉庫協会)「Global Top25 List」2022年3月資料をもとに加工



## 4. 参考資料

### [損益計算書（連結）]

単位：億円、端数四捨五入、（ ）内利益率

	前期		当期		前期比
売上高	2,245		<b>2,442</b>		+8.8%
営業利益	146	(6.5%)	<b>151</b>	<b>(6.2%)</b>	+3.6%
経常利益	139	(6.2%)	<b>145</b>	<b>(5.9%)</b>	+4.3%
税引前利益	137	(6.1%)	<b>141</b>	<b>(5.8%)</b>	+2.7%
当期純利益	91	(4.1%)	<b>90</b>	<b>(3.7%)</b>	▲0.8%

※利益率は1円単位で計算

## 4. 参考資料

### [損益計算書（セグメント別）]

（単位：百万円）

		前期	当期	前期比	増減率
売上高	物流ネットワーク	102,948	<b>104,631</b>	1,683	+1.6%
	地域保管	71,413	<b>72,466</b>	1,053	+1.5%
	海外	45,920	<b>63,745</b>	17,825	+38.8%
	その他・共通	4,264	<b>3,363</b>	▲ 901	▲21.1%
	合計	224,547	<b>244,207</b>	19,660	+8.8%
営業利益	物流ネットワーク	5,517	<b>5,418</b>	▲ 99	▲1.8%
	地域保管	7,925	<b>8,111</b>	186	+2.3%
	海外	2,077	<b>2,406</b>	329	+15.8%
	その他・共通	▲ 895	<b>▲ 789</b>	105	-
	合計	14,626	<b>15,147</b>	521	+3.6%

## 4. 参考資料

### [財務諸表分析]

		前期末	当期末
総資産	百万円	194,503	202,234
負債	百万円	102,642	103,119
うち、有利子負債	百万円	62,253	61,623
うち、有利子負債（リース債務除く）	百万円	48,300	47,602
純資産	百万円	91,861	99,115
D/E比率	倍	0.7	0.6
D/E比率（リース債務除く）	倍	0.5	0.5
自己資本比率	%	47.0%	48.8%
売上高	百万円	224,547	244,207
当期純利益	百万円	9,107	9,037
自己資本利益率（ROE）	%	10.0%	9.2%
総資産利益率（ROA）	%	4.7%	4.5%
総資産回転率	倍	1.2	1.2

注1：D/E 比率の算出方法：有利子負債÷純資産（少数株主持分を除く）

## 4. 参考資料

### [設備投資の状況]

〈設備投資等〉

(単位：百万円)

前期	当期	前期比	次期計画	当期比
12,857	<b>13,512</b>	+655	24,240	10,727

〈減価償却費〉

(単位：百万円)

前期	当期	前期比	次期計画	当期比
10,817	<b>11,265</b>	+447	12,590	+1,325

〈主な設備投資〉

(単位：百万円)

完了年月	会社名	所在地	設備の内容	設備投資 総額	当期計上額	完成後の 増加能力
	事業所名				(既計上額)	
2024年 1月 (予定)	(株)キョクレイ 神戸六甲物流センター	兵庫県 神戸市	物流センターの 新設	9,253	<b>1,474</b> <b>(4,070)</b>	設備能力 24,100 t

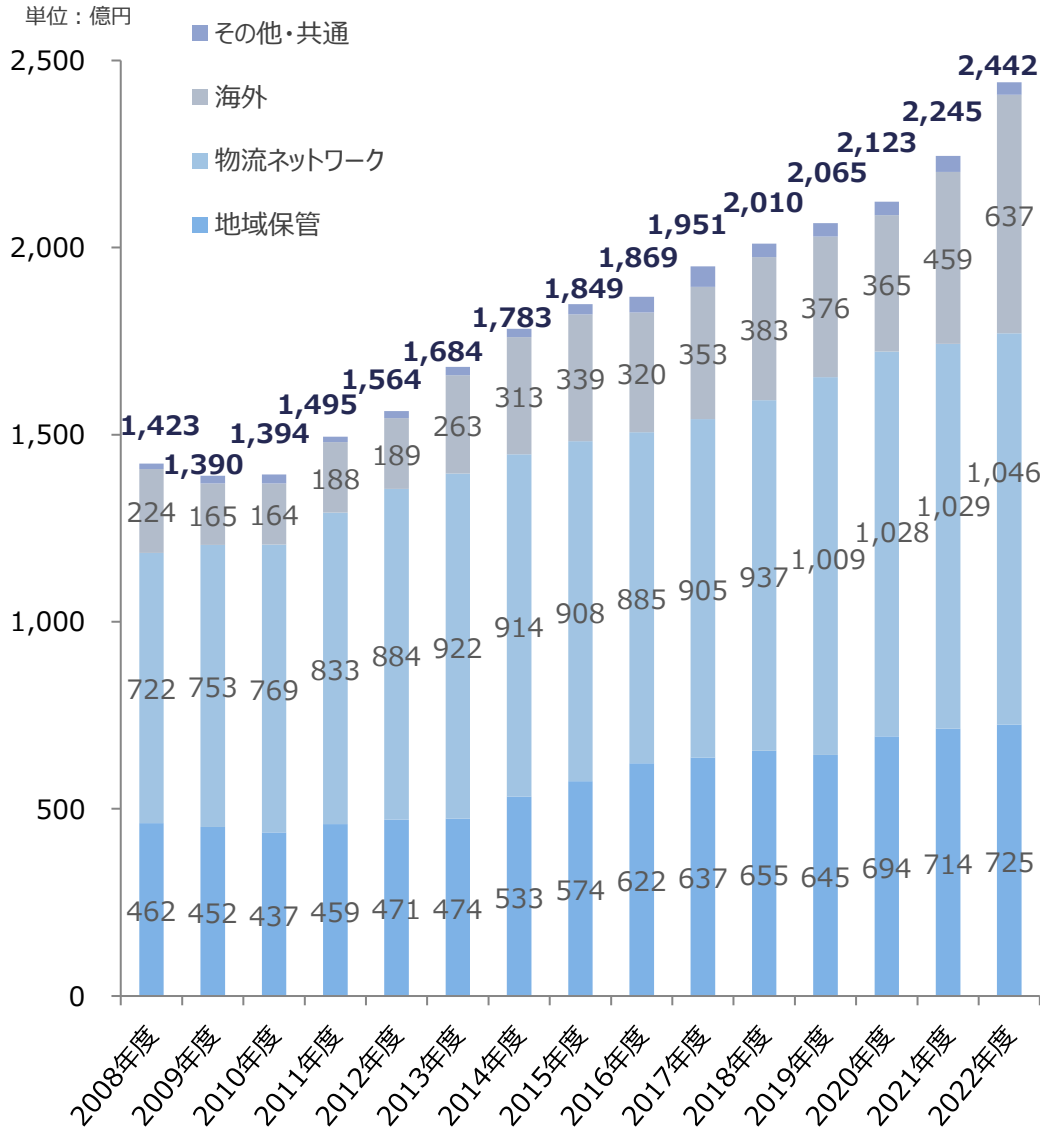
注1： 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

注2： 「設備投資総額」は、計画数値であります。

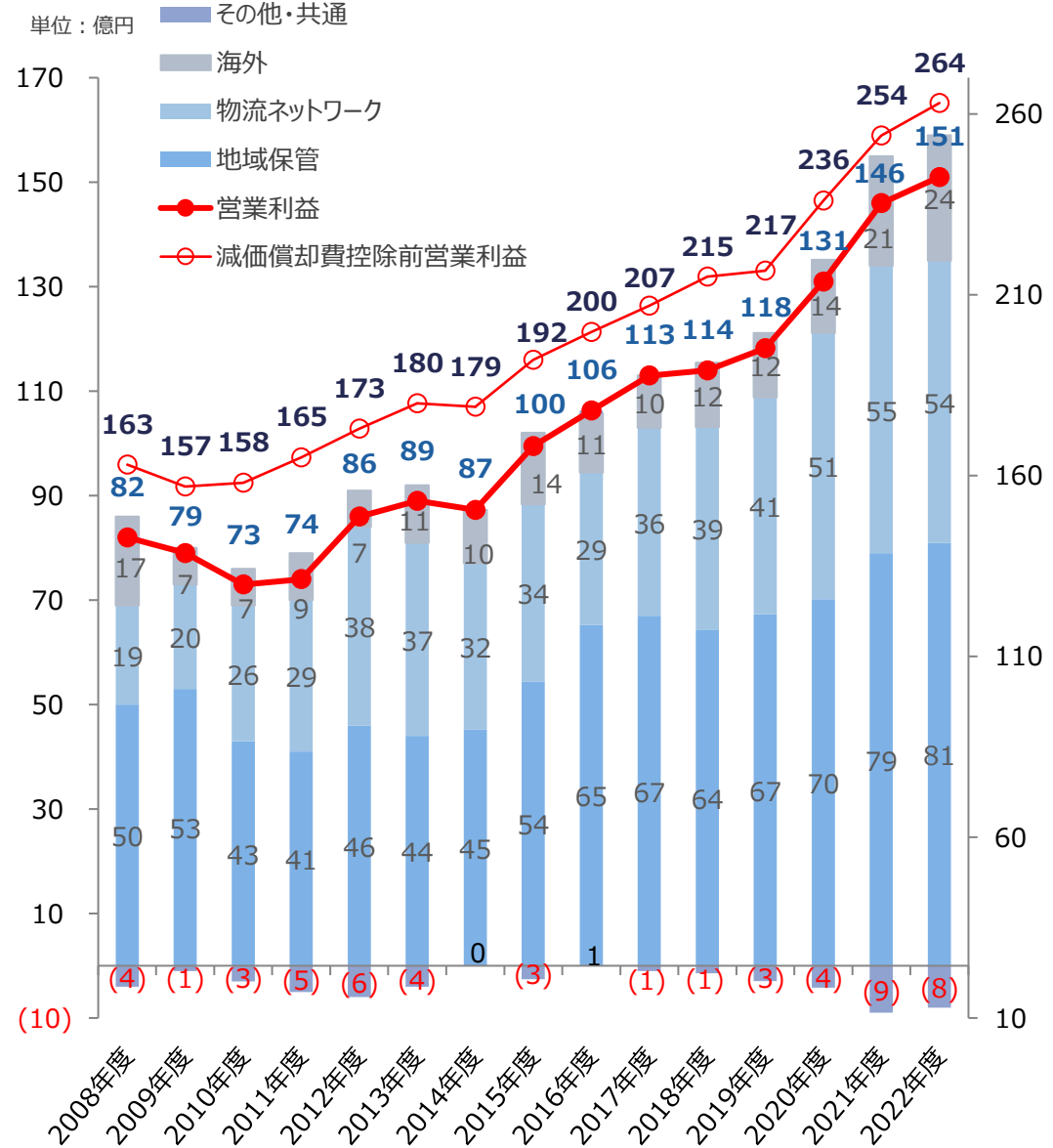
# 4. 参考資料

## [売上高・営業利益推移]

### 売上高推移



### 営業利益推移



この説明資料に記載されている当グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られた当グループ経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、経済情勢および業界環境、為替レート変動、品質保証体制確立の実現性、新サービスの実現性、成長戦略とローコスト構造の実現性、当グループと他社のアライアンス効果の実現性、偶発事象の結果、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響など、リスクや不確実な要素を含んでおりますので、業績見通しのみで全面的に依拠して判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。

## 【お問合せ先】

株式会社ニチレイロジグループ本社 経営企画部  
N1040X003@nichirei.co.jp

株式会社ニチレイ 広報IR部 広報グループ  
N1000X036@nichirei.co.jp

株式会社ニチレイロジグループ本社 ホームページ  
<https://www.nichirei-logi.co.jp/index.html>

